
自殺志願者の水泡恋

嘩月 - ka「d/z」uki -

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

自殺志願者の水泡恋

【Nコード】

N6397K

【作者名】

嘩月 - k a r d / z - u k i -

【あらすじ】

- - - - -

ずっと一人だった

それは僕が求めた事で

後少し。そんな時に会いたくない
気付いたら独りだった

きつと下らないから

こんな世界は自殺だらけ
人殺し。そんな場所に生きたくない

汚い場所からやってきた

明るい君の姿

問い掛けた言葉の返答

不思議と頬が緩んで

笑えたようだ

少しつまらない物語

テレビで見るものよりつまなくて

でも君は笑って話していた

非現実よりも 君の日常が楽しかった

どうしてだろう？

見下していた場所

いつもと違く見えた

鮮やかに輝いていて

軋む体も気にせず

身を乗り出していた

君が話す事は全てが普通だけど
すごく新鮮で愉快で

馬鹿な話もした

そんな時には大笑いした

永遠に続けばいいのにな

不意に恐くなつた

一人の夜の時間

君は此処にはいなくて

自分との違いを思い知る

異常な僕を思い知る

君は今日も楽しそうで

聞かしてくれる話しは普通だけど

想像したら何故だか笑えた

二人笑って涙が出た

僕と一緒にいてくれた

孤独を奪ってくれた

君が泣いていた
僕の隣で泣いていた
意識が徐々に遠退いていく
君はずっと笑顔でいて
だから最期に話すよ
僕のなんでもない日常

まだ君が消えてなくて
まだ君と話したくて
まだ君を見ていたくて
まだ君に愛たくて
私を此処に繋いだのは君だったのに
ただ君に愛たかった

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6397k/>

自殺志願者の水泡恋

2011年1月15日23時05分発行